

世田谷区本庁舎等整備における総合評価方式に関する
評価項目検討の重要な視点（たたき台）

総合評価方式等の検討における基本方針及び世田谷区本庁舎等整備施工者選定手法等検討委員会における検討内容を踏まえ、総合評価方式における評価項目を検討する上での重要な視点を以下のとおり示す。

- ① 競争環境の創出により民間技術力を活用したうえで工事費の適正化を図る。
➔ 価格と技術提案の評価バランス
- ② 本工事の建物機能や施工内容に必要な工事实績を有する施工者を選定する。
➔ 【組織】施工実績、【技術者】施工実績
- ③ 区内事業者が参画できる機会の拡大を図り、区内経済の活性化及び地域貢献に寄与する施工者を選定する。
➔ 地域貢献
- ④ 既存庁舎の解体と新庁舎の建設を繰り返し、庁舎運用状況など工事条件が刻々と移り変わる本工事において、合理的な施工手順と施工手法を構築できる施工者を選定する。また、多数の関係者との連絡調整をとりまとめ、適時・適切に発注者との情報共有を図ることができる施工体制を有する施工者を選定する。
➔ 合理的な施工計画
- ⑤ 各工期の完了後、短期間で庁舎機能移転を滞りなく遂行するための工程計画と工程管理を実施できる施工者を選定する。
➔ 設定工期内での各工期の最適化
- ⑥ 複雑で難易度の高い工事をより安全かつ着実に遂行し、来庁者や職員の安全確保や庁舎機能維持ができる施工者を選定する。また、工期中の自然災害発生時への対策など適切なリスク管理ができる施工者を選定する。
➔ 安全な敷地内の居ながら工事計画
- ⑦ 3期にわたり段階的に免震構造建物をつないでいく建設プロセスと区民会館ホールの改修工事・耐震補強工事において、建物品質確保、庁舎機能の継続を実現できる技術力を有する施工者を選定する。
➔ 免震構造の分割施工及びホール改修における品質の確保
- ⑧ 近隣住民への騒音・振動・粉塵等の低減や環境負荷の低減に努め、区民への情報公開等、社会的な要請に応えられる施工者を選定する。
➔ 近隣配慮・環境配慮・情報公開の取組み